

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



# 学校だより

## 3月号

横浜市立谷本小学校  
令和5年2月28日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



## 東日本大震災から 12 年

校長 高橋 哲雄

3月11日で東日本大震災から12年になります。12年前というと6年生も生まれたばかりですので、今小学校に通う子どもたちは当時のことを知りません。当時、私は都筑区の小学校にいました。横浜市では津波の被害こそなかったものの、その時の体験をお知らせすることで、少しでも震災を風化させないことになるのではと思います。

平成23年3月11日（金）14時46分頃、突然大きな揺れを感じ、それが経験したことのないくらい長い時間続きました。揺れが収まってから全員校庭へ避難しました。低学年の子どもたちは下校を始めているというタイミングでしたが、怖くて泣きながら学校へ戻ってくる子どもたちもいました。とても寒い日で、急いで避難をしたため上着もなく、子どもたちは寒さに震えていましたが、時折大きな余震もあり、安全のためしばらく校舎の中に入れなかった状況が続きました。怖さのあまりに泣いている子どもがどんどん増えていきました。その後、保護者への引き渡しによる下校をしましたが、最後の子どものお迎えが来た時には午前2時を回っていました。それでも、全員無事に保護者にお渡しすることができてほっとしたことを覚えています。その間、体育館を避難所として開設したり、学区内に被害がないか見回ったりしました。ところどころ停電している地域があり、また、国道246号線は大渋滞で車はなかなか動かず、東京方面から家に向かう途中のたくさんの人々が歩道にあふれていました。本当にこれまでにない経験でした。

この経験で思ったことがあります。それは「災害は起こる」ということです。学校では避難訓練をしていますが、改めて訓練に緊張感をもって臨み、体で覚えることが大事だと実感しました。子どもたちには「避難訓練だけはいつでも100点満点で。」という話をし、真剣に取り組むことを求めています。児童へのアンケートからも少しずつ意識が高まっていることがわかり

ます。今後も、いざというときのために、自分の身を守る力をつけることを意識して取り組んでいきます。

13 避難訓練に真剣に取り組んでいる。

